

## 循環器内科後期研修プログラム

後期研修 2 年間の目標については下記のとおりである。

一年目

0～6 ヶ月

非侵襲的手技

経胸壁心臓超音波検査

心臓超音波検査の結果報告が一人で出来る。

トレッドミル運動負荷試験

検査が一人で出来、報告書作成が出来る。

ホルター心電図

結果の診断が一人で出来る。

侵襲的手技

心臓カテーテル検査

静脈シース、動脈シースの挿入が出る。

右心カテができる。

左右冠動脈の造影ができる。

心カテーテル検査台の操作ができる。

6～12 ヶ月

非侵襲的手技

経胸壁心臓超音波検査

ルーチンの検査が一人でできる。

トレッドミル運動負荷試験

合併症（不整脈、狭心症発作、血圧低下）に対する初期治療が出来る。

ホルター心電図

結果の診断が一人で出来、治療計画が立てられる。

侵襲的手技

心臓カテーテル検査

0～6 ヶ月と同じであるが、左右冠動脈造影が症例数の増加とともにスムーズに行えるようになる事が目標である。

ペースメーカー植え込み

助手が行えるようになる。

1 年終了時点では救急患者の診察や鑑別診断、治療計画や初期治療が行えるようになることが大まかな目標である。

二年目

非侵襲的手技

#### 経胸壁心臓超音波検査

ルーチンな心臓超音波検査のみならず先天性心疾患や各種弁膜症、心筋疾患や虚血性心疾患といった多岐に渡る心疾患の心エコー検査が行えるようになる。

#### トレッドミル運動負荷試験

検査を全て一人で出来る。

#### ホタテ心電図

診断による治療方針の決定が一人で出来る。

#### 侵襲的手技

##### 心臓カテーテル検査

ルーチンな検査の習熟度を上げることはもちろん、PCIの助手や簡単な症例のPCIを行う。

##### ペースメーカー植え込み

助手はもちろん術者も行えるようになる。

##### 経食道心臓超音波検査

一人でプローブを挿入でき検査行えるようになる。